

漢方 浮田医院 だより



第 81 号
医療法人 せいらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ：<http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2009年1月5日(月)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(81) 神経病Ⅲ

明けましておめでとうございます。今年もよろしく願います。丑、皆さんはどのようなイメージをお持ちですか？頑丈な体(体力)、働き者、のろま、優柔不断・・・？今年には急がず、ゆっくり、新しいことはしないで、今あることを間違いないとする年にしたいと思っています。そのため、丑のような体力を持ち合わせて、黙々と与えられたことを成し遂げる年になればと願っています。今年、十一月一日、日本東洋医学会関西支部総会が滋賀県主催で、ピアザ淡海(大津)で開催されます。私は会長を拝命しましたので、是非成功させたいと言う気持ちで一杯です。また、一月には、日本東洋医学会の役員会(大阪)、二月には、漢方研究会(京都)があり、多くの漢方医と交わる機会に恵まれます。

神経痛Ⅲのお話です。

せせらぎ七十四号の続きです。神経痛は末梢神経の走行あるいは分布領域に起る疼痛です。神経学的な異常を認めず突然起る三叉神経痛(顔面痛)、舌根、扁桃腺、咽に突然起る痛みは舌咽神経痛、後頭部に突然起る痛みは後頭神経痛



華佗



宝泉院(額縁庭園、大原、京都)

肋骨に沿って起こる慢性の痛みは肋間神経痛、脊髄根圧迫症状が原因の痛みは腰椎椎間板ヘルニアや変形性腰椎症などがあります。骨折や腫瘍を的確に診断することが大切です。また、帯状疱疹後神経痛にも注意が必要です。腫瘍や骨折でなければ、安静臥床、各種消炎鎮痛剤、神経ブロックや硬膜持続外注入法などの治療もありますが、漢方薬や鍼治療もかなり有効です。では事例に移ります。

七十六歳女性、一五〇cm、四十九kg、**神経痛**、左下腹痛、腰痛にて来院。顔色は普通、腹部は軟らかく、両側臍傍抵抗と圧痛、臍下不仁を認める。脈は沈、細、遅。舌は、暗紅色、薄黄苔、乾燥、舌下静脈軽度怒張。そこで、疎経活血湯を処方。二ヶ月後、左下腹に時々痛みを感じると言われたので、疎経活血湯加修治附子に変更。三ヶ月後痛み消失。現在も継続中。

三十二歳女性、一五十八cm、五五kg、**不妊症**(軽度排卵障害、体外受精3回、結婚後七年、精子正常)、便通三日に一回。顔色良好、腹部は緊張良好、両側胸脇苦満、心下痞硬、両側臍傍抵抗と圧痛、





脈は浮弦。舌は、淡紅色、薄白苔。そこで、大柴胡湯、桂枝茯苓丸、サフラン、大黃末を処方。六ヶ月後、低溫相三〇日が二〇日に改善。一年後、排卵が十五〜二〇日目になるようになる。一年半後妊娠。無事に元気な赤ちゃんを出産。

五十八歳女性、一五九cm、四十五kg、**リウマチ**（手指・手首、膝の腫脹と変形と疼痛）、疲労感、食欲不振、便秘。顔色良好、腹は軟弱、胃内停水、臍上下悸、臍下不仁。脈は浮細数、舌は、淡紅色、乾薄白苔。CRP3.0。そこで、補中益氣湯加茯苓（昼、眠前）、越婢桂枝湯（朝、夕）を処方。三ヶ月後、（手指・手首、膝の腫脹と疼痛が軽減。一年後手首の腫脹は残るが、手指と膝の腫脹と疼痛は消失。CRP0.7。二年後、手首腫脹及び痛消失。CRP0.3。三年後の現在も服用中。

四十二歳女性、**口内炎**、（一ヶ月に一〇〜十五個、二〇年来）。月一〇〜十五個、二〇年来。顔色良好、お腹は硬く、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、両側腹直筋緊張、臍傍圧痛と抵抗を認める。脈は浮緊。貧血（一）、肝機能異常（一）。そこで、一貫堂竜胆瀉肝湯加柴胡、



院長

枳実、桃仁、牡丹皮を処方。三ヶ月後、口内炎は、一週間に一〜二個に減少。六ヶ月後、一週間に〇〜一個に減少。一年後、一ヶ月に二〜四個に減少。二年後、一ヶ月に〇〜二個。現在継続中。

二十八歳女性、一六三cm、五十五kg、**冷え性**（一〇六〜五〇）、肩こり、首のこり、腰と手足の冷え、倦怠感、便秘を訴えて来院。顔は良好、腹は軟弱でなく、胸脇苦満（軽度）、心下痞硬、臍上下悸、両側下腹部に抵抗と圧痛（軽度）。脈は沈細遲。舌は淡紅色、薄白苔。そこで、柴胡桂枝乾姜湯加茯苓、白朮、大黃を処方。一ヶ月後、腰及び手足の冷え、便秘軽減。六ヶ月後、首及び肩こりも軽減。一年後、入浴後の冷え冷えた感覚、就寝時の冷えはほとんどなくなる。現在も漢方薬を継続中。

次回、**肝と腎**です。



不妊症

ホルモン、子宮（子宮内膜症）、卵巣、卵管（通過障害）、子宮頸管粘液、精液などの異常を見つけるため、基礎体温、ホルモン検査、超音波検査、精液検査、卵管検査などが必要です。当院では、漢方薬を中心とした治療を実施していますが、ご希望に応じて、西洋医学的な薬剤（ホルモン剤、排卵誘発剤など）も使用しています。



リウマチ

東洋医学では、漢方薬、鍼、灸、食養、生活指導を重視します。湿（湿気）、寒（冷え）、気虚（気力の低下）、瘀血（微小血液循環障害）を調整して、局所（関節）と共に体全体を調えようとします。適度な運動（リハビリテーション）、休養、息抜き、食養、睡眠が大切です。でも、痛いときには、鎮痛剤などを併用下さい。一緒にがんばりましょう。



口内炎

虫歯、義歯、胃腸障害、感染症、妊娠、月経、薬物障害などが原因で口中粘膜や舌が荒れて痛む。外用薬、うがい、漢方薬などを利用して治療しています。体格（体力）、イライラ、のぼせ、下痢や便秘、腹鳴（ゴロゴロ）、過食、不眠などを参考に漢方薬を処方して慢性化した口内炎の治療をしています。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、**しっかり蓋**をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器** (無料) をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症 ・ 程度の病氣：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病氣、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約－漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります(予約制、2回/月)。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定 (4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・ 太乙膏 ・ アガリクス
- ・メシマコブ・靈芝 ・ AHC ・ サメ軟膏

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。
往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き、処置の欄にチェックして下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	予約～漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療 (手術)		在宅訪問診療 (手術)		在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来(月～土):内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
 ◇予約～漢方外来(2回/月 土曜日):午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、3時～20分、3時20分～40分
 3時40分～4時 (電話予約可、日程はホームページ、掲示板参照)
 ◇更年期外来(月～土曜日):更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
 ◇不妊 外来(月～土曜日):赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◇妊婦 外来(月～土曜日):妊婦健診、妊娠中の方
 ◇産後 健診(水、金曜日)(有料):正午～午後0時30分 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月)も(電話予約可)
 ◇産後 相談(月～金曜日)(有料):午後2時～30分、2時30分～3時、3時～30分 産後の悩み (電話予約可)
 ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料):午後2時～30分、2時30分～3時、3時～30分 乳房マッサージ (電話予約可)

前期と中期-母親教室

日時:平成21年1月10日、2月7日、3月7日の
各土曜日
対象:妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所:当院別棟 多目的ルーム 申込方法:申込ノートでご予約をお願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。
立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前の記入をお願いします)

後期-母親教室

日時:平成21年1月7日(水)、17日(土)、28日(水)
2月14日(土)、25日(水)
対象:妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

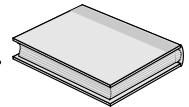
母親教室では、「母と子のてびき」にそって、お話をすすめています。参加時には
母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。

(「母と子のてびき」は、分娩予約時に受付でお渡ししています。)



貝原益軒(かいばらえきけん)

京都で本草学や朱子学等を学び、木下順庵、山崎闇斎、松永尺五らと交友を深めた。「養生訓」と
言う医書で、精神的修養と自然療法による健康法を示し、「元気を保つ」ことを基本理念とし、節制に
よる健康維持を訴え、老年期の身体と心の養生を実体験を下に平易な文章で著した。
著書に「大和本草」、「菜譜」、「花譜」などの本草書、「養生訓」、「和俗童子訓」、「五常訓」などの
教育書、「和州巡覧記」などの紀行文がある。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。ご予約には、
分娩予約カードと予約金10万円が必要です。予約
された方には、母と子のてびきをお渡しします。

漢方のお茶(清暑益気湯(せいしょえつきとう)加減)

疲労回復にもってこいのお茶です。ちょっと疲れ気味の
方はお試しください。妊娠中の方も飲みください。

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

産後相談 母乳相談 (助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
日程は掲示板やホームページで確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠24週ころ(母体
と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでくだ
さい。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

産後健診と赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時:毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、
メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその
家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発
防止策を講ずるための制度。当院でお産される
方に、10月より登録証を発行する予定です(妊
娠5ヶ月ころ)。詳細は受付でお聞きください。